

瀬戸病院

医療機関2025プラン

平成30年10月策定 令和2年12月改定

【基本情報】

医療機関名	医療法人社団 信愛会 瀬戸病院
開設主体	医療法人社団 信愛会
所在地	山口県山陽小野田市稲荷町 11-20
許可病床数 (病床の種別) (病床機能別)	32 床 療養病棟 慢性期
稼働病床数 (病床の種別) (病床機能別)	32 床 療養病棟 慢性期
診療科目	整形外科 リウマチ科 リハビリテーション科
職員数 ・ 医師 ・ 看護職員 ・ 専門職 ・ 事務職員	7 名 (内非常勤 5 名) 23 名 (内非常勤 6 名) 10 名 6 名

作成 担当者	(所属)	連絡先	(電 話) 0836-83-2292
	(氏名) 瀬戸信一郎		(メー ル) hakonenosaka@hotmail.co.jp

【1. 現状と課題】

① 自施設の現状（平成30年度病床機能報告）

届け出入院基本料：療養病棟入院基本料2 年間新規入院患者：244名 1日平均入院患者：23.4名
平均在院日数：24.1日 在宅復帰率：90.3% 救急車23台/年

整形外科単科病院であり、骨折など保存的治療が必要な急患や、急性期病院での手術後の自宅復帰に向けたリハビリ目的の入院が多かった。運動器リハビリテーションを得意としており、家屋調査や自宅改修のアドバイスなども通じ患者様の在宅復帰をサポートしていた。

② 自施設の課題

在宅患者様の緊急入院から手術・リハビリ・慢性期までの治療を行っており、急性期の疼痛が改善しリハビリで生活が自立すれば退院としていた。病院機能的には地域ケア病棟の機能を果たしていたが、整形外科の疾患は重症度が低くカウントされる事から、施設基準の問題で療養型病棟を選択していた。

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～②を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

令和2年6月30日付で病床を廃止し、令和2年7月1日より、同じ建物の外来機能のみで「瀬戸整形外科クリニック」を開設した。

整形外科の入院機能は廃止したが、代わりに在宅療養支援診療所の施設基準を取得し、主に整形外科分野の在宅診療やそのサポートを行う事で、山陽小野田市の在宅医療を支えていこうと考えている。令和2年7月より、訪問診療と介護保険による訪問リハビリを新たに開始し、医師による定期的な訪問診療を1名、OTによる訪問リハビリを6名行っている。今後は地域のかかりつけ医として往診も拡充し、引き続き一次救急にも貢献していきたい。

② 今後持つべき病床機能

病床機能は備えない

③ その他見直すべき点

特になし

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4 機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期			
回復期			
慢性期	32		0
休棟等			
(合計)	32		0
介護保険施設へ移行予定	—		
うち、介護医療院	—		

<年次スケジュール> ※今後のスケジュールがある場合に記入

年度	取組内容	到達目標

③ 診療科の見直しについて ※検討の上、見直さない場合には、記載は不要

④ その他の数値目標について ※該当項目がある場合に記入

【4. その他】(自由記載)